

# 植草学園さくら会\*会報

## ご挨拶

会員の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申しあげます。平素は同窓会活動にご協力賜り誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

平成29年度の総会を経て継続して会長を務めさせて頂く事と成りました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

さて、植草学園さくら会は、各同窓会の連合会として組織し、同学園の同窓生の交流、親睦を図り、併せて同学園との連携を強化し、学園の発展に寄与することを目的とし、平成22年4月に設立され、平成30年度で9年目を迎えます。



平成29年4月小倉キャンパス内

## ご挨拶

学校法人

今年(平成30年)は、植草学園大学創立11周年、短大は創立20周年、高校は創立40周年を迎えます。節目の年を迎えるにあたり、それぞれの学校の設置やこれまでの運営に尽力された教職員の皆さん、そして、各学校を支えていただいた同窓会、保護者会の皆さんに心から感謝申し上げます。これらの学校は学園建学の精神に基づく教育目標を掲げ、教育活動に邁進してきました。お陰様で、卒業生の数は大学871名、短期大学2,870名、高等学校10,091名となり社会や上級学校ですばらしい活躍をしております。(人数は平成29年3月時点)



植草学園さくら会 会長 小林 鶴枝

ご報告ですが、大学・短大の緑栄祭時開催の「大抽選会」の平成29年度の売上は111,300円。植草学園さくら会からの寄付金100,000円と併せて、211,300円を、植草学園教育研究振興資金に寄付し、植草学園の全ての学校で役立てていただきます。

引き続き、更なる同窓会活動へのご支援、ご協力を、宜しくお願い申し上げます。



幼児教育専門学校卒  
13期生

## 会報誌記事募集

会員の皆様とつながりの場になればと思いますので、  
チケット同窓会の様子、勉強会の様子など、さくら会会報誌に記事をお寄せください。

なお、就職に関する情報等もお待ちしております。

**大学キャリア支援課(もしくは各同窓会役員へ)  
UEKUSA卒業就職支援のフォームよりお送りください。**



植草学園 理事長 植草 和典

本来ならば記念行事等を実施して、感謝の言葉を申し上げるところであります。しかし、明治37年(1904年)に設立された植草学園は、6年後の2023年に創立120周年を迎えることになります。そこで、学園の創立120周年事業の中で各学校の発展を皆さんと共に喜びたいと考えています。

昨年の学園将来構想会議で、学園のイメージを「インクルーシブを学び実践する学園」とすることが承認されました。また、平成30年度から新中期計画がスタートとします。ますます多様化の進む社会にあって、全ての人をやさしく包み込む社会の実現を目指すことが学園のミッションとして示されました。今後も地域社会において、信頼される学園を目指し努力をしてまいります。さくら会の皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 学びと、地域交流と、癒やしの場 植草共生の森

## 第4回ビオトープ祭開催

平成30年1月20日「植草共生の森第4回ビオトープ祭」が開催されました。

当日、植草学園さくら会は、つきたてのお餅係としてお手伝いをさせていただきました。大変寒い一日で、お客様が例年通りに来てくださるのか心配でしたが、ご近所のご家族連れや附属園の園児たちも遠くから足を運んでください、実際にお餅をついたり、手丸めする前の大好きなお餅に驚いたりして楽しんでくれました。

お餅の他には、豚汁、焼き芋、バームクーヘン、ピザ、焼きマシュマロがありました。ビオトープの田んぼで育てた純植草産のもち米をブレンドしたつきたてのお餅は、大変人気で、何度もお代わりに来てくれていました。

ビオトープ祭りは、植草学園理事長の肝入りのお祭りで、元の地主様、市議会議員様、近隣の施設様、ご近所の皆様等、日頃お世話になっている地元の方々に喜んでいただけたため、学生、教職員、卒業生が集まり、「all植草」で取り組んでいるお祭りです。今年は第4回目を迎え、地域の方々との交流の場になり、500名ほどの皆様にご参加いただき、年々盛況になっています。

今回も、後輩である大学生とともに、楽しく活動することができ、毎年、卒業生として参加するビオトープ祭りを楽しみにしています。



### JR千葉駅ビル内に 「植草学園千葉駅保育園」が開園します！

平成30年4月、JR千葉駅内に「植草学園千葉駅保育園」を開園することとなりました。この事業は千葉市、市原市、四街道市が広域連携の一環として、JR千葉駅内に保育園を共同整備することになり、学校法人植草学園がその整備事業者として選定されたものです。開園前の見学会・説明会には、毎回多くの方が参加され、各方面から高い注目を集めています。待機児童減少のための一助となるよう取り組んでいます。

開園に向けて準備が進む保育園の内部の様子

### 植草学園ブックス

#### 植草学園大学・短期大学講師陣による研究の成果

2014年6月発売  
特別支援シリーズ1  
知的障害教育の本質  
—本人主体を支える—  
植草学園大学 前学長  
小出 進 善

2015年6月発売  
特別支援シリーズ2  
今日からできる！  
通常学級ユニバーサルデザイン  
—授業づくりのポイントと実践的展開—  
佐藤 恒二 著

2017年3月発売  
特別支援シリーズ3  
介護現場のリーダーお助けブック  
—コミュニケーションが苦手な人のために—  
川村博子・漆澤恭子 編著  
古川繁子・根本曜子

2017年5月発売  
特別支援シリーズ4  
中学校・高等学校  
発達障害生徒への社会性指導  
桑田 良子 著

2017年5月発売  
特別支援シリーズ5  
「子どもが主人公」の保育  
—どの子も輝くインクルーシブな園生活づくり—  
木下 勝世 著

2017年9月発売  
特別支援シリーズ6  
「気になる」子ども  
保護者にどう伝える？  
幼稚園・保育所・小学校の先生必携！  
佐藤 恒二 著  
執筆協力／加藤悦子  
庄瀬由紀・栗原ひとみ

### 読み終えた本で植草学園をご支援ください

古本募金とは皆様から読み終えた本・DVD等を提供いただき、その査定換金額が植草学園に寄付される取り組みです。

寄付金は学園に通う障害のある学生・生徒・園児への支援として活用させていただきます。皆様からのご支援をお待ちしております。

#### 古本募金の流れ

- ①品物を箱に詰める
  - ②集荷を申し込む  
宅配業者が記入済の伝票を持参して引取りに伺います
  - ③査定して募金額を報告  
(運営協賛会社が1点ずつ査定します)
  - ④植草学園に送金  
(募金いただいた方のお名前を添えます)
- 

#### ○募金できるもの

本・DVD・CD・ゲーム  
切手・はがき・商品券  
貴金属・ブランド品  
※貴金属・ブランド品は  
壊れていても構いません。

ISBN978-4-123-45678-9

本はISBNコードがあるか  
ご確認ください。

#### ✗募金できないもの

ISBNコードがない本はお受けできません。  
タバコ・カビ臭・付属品の欠品・過刊誌・著しい汚れ・破損

#### 古本募金のお申込み・お問い合わせ

電話：00 0120-29-7000 (受付9時～18時)

WEB：植草学園 古本募金 [kishapon.com/uekusa/](http://kishapon.com/uekusa/)

運営協賛：古本募金きしゃぽん(嵯峨野株式会社) 〒356-0053 埼玉県入間市仙子916



### 植草学園さくら会会員の皆さまの 「UEKUSA卒業就職支援」について



植草学園小倉キャンパスでは、植草学園大学・植草学園短期大学生等の卒業後の就職・キャリア支援を行っています。卒業生の皆様には、卒業後もキャリア支援課を利用することができます。日頃より卒業生が母校に来校され、時に就職のご相談をいただくこともあります。一方で、各現場から卒業生を対象とした求人の問合せを多くいただくこともあり、このような卒業生の再就職希望と現場の求人ニーズの双方に対応させていただけるよう「UEKUSA卒後就職支援」を学園のホームページ上に設けることといたしました。

#### 植草学園さくら会ホームページ URL <http://www.uekusa.ac.jp/>

植草学園大学・植草学園短期大学のホームページメニューから、「学園について」→「植草学園さくら会(連合同窓会)」をクリックし、植草学園同窓会のホームページにお入りください。

職場での迷いや心配なことが生じた時には、一人で悩まないで気軽にキャリア支援課に来室してください。

電話でも受けていますので、ご連絡ください。

大学事務局 キャリア支援課 (小倉キャンパス)

Tel : 043-233-9080(直通) Fax : 043-239-2650

E-mail : [career@uekusa.ac.jp](mailto:career@uekusa.ac.jp)

お問い合わせ

# 植草学園大学

開学して十年、社会に貢献できる大学を目指して!



植草学園大学 学長 浦野俊則

大学は開学して十年目になりました。平成29年度は、理学療法士国家試験の合格率が90%を越えました。発達教育学部、保健医療学部とも高い就職率を維持しています。就職先で活躍している卒業生の様子を耳にするようになり、うれしく思っています。

平成30年3月卒業の皆さんも、本学での学びを生かして、子どもの教育・保育や理学療法などさまざまな分野で活躍してくれるものと期待しています。

我が国は社会は、少子化や高齢化が進んでいます。これからの社会で本学の卒業生がそれぞれの分野で地域の活性化やインクルーシブな共生社会の実現に寄与できること、これは本学の目指しているところです。

卒業生の皆さんが、どのような所でどのような活動をしているか、大学はどんな教育をすべきかなど、いろいろな感想や意見を聞かせてほしいと思っています。皆さんの意見を大切にして、よりよい教育、よりよい学生支援ができる大学を目指して、皆さんの母校として誇れる大学にしたいと思っています。卒業生の皆さんと力を合わせて、社会に貢献できる大学にしていきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

## ご挨拶



植草学園大学同窓会 会長 西川 嘉人

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。いつも同窓会の活動にご理解・ご協力ありがとうございます。今年の「卒業生の集い」にもたくさんの卒業生と先生方が参加してくださいました。お子さん連れの方、はじめて参加したという方もいらっしゃいました。短い時間ではありましたが、懐かしい話やゲームで盛り上がり、大変有意義な時間だったと思います。来年も開催予定ですので、みなさんの参加をお待ちしております。

ところで、大学は来年で開校10年目になるそうです。大学生活を送っていたことがつい先日のように感じられますが、時間が経つのは早いですね。入学時は大学棟も1期生のみで広く感じていたキャンパスでしたが、植草生でいっぱいのキャンパスや、先生方の研究室が変わっていたりするのを見ると、卒業して何年も経つのだなとしみじみ感じます。ですが、いつ行ってもあたたかく迎えてくれるのが植草学園です。4年間お世話になった学舎に同窓生の皆さんが遊びに来たくなるような、そんな活動を続けていけたらと思います。これからも同窓会活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



## 緑栄祭～卒業生の集い～ 11/12

今年度も緑栄祭2日目に「卒業生の集い」が開催されました。卒業生いっぱいってくれましたよー!思い出話や今の悩みなど、同じ学舎で成長した仲間と分かち合うと、励みになりますよね。そして、大木先生、上原先生、佐藤先生、渡邊先生、遠藤先生、いつもご参加いただきありがとうございます。卒業しても応援してくださる先生方の存在は、私たちにとって本当に心強いです。

ピング大会は、担当の役員さんがお仕事で忙しい中、心をこめて企画してくださいました!ハズレ商品は一切ありません!でしたが、酢イカが遊園地チケットと交換となるという、まさかのミラクルが起きました!そんなこともあって、楽しい同窓会でしたね。また来年もお楽しみに♡



## 植草学園大学保健医療学部理学療法学科「第1回 卒後研修会」報告

同窓会の主催で保健医療学部理学療法学科の「第1回 卒後研修会」が初めて開催されました。

保健医療学部 准教授 荒金 房子

日時：2017年3月11日(土)

プログラム

15:00～18:00

会場：植草学園大学L棟 治療室

15:10～16:00 講演1「運動器疾患最前線 膝関節周囲の脂肪体について」

JAとりで総合医療センター 理学療法士 豊田和典 先生

16:10～17:40 講演2「脳卒中患者の治療における臨床推論」

順天堂大学板橋病院 理学療法士 大槻暁 先生

18:00～

懇親会 @ Kusu-Kusu

### 講演1

「運動器疾患最前線 膝関節周囲の脂肪体について」

JAとりで総合医療センター 理学療法士 豊田 和典 先生



豊田和典先生の大変興味深い講演に参加者はみな瞬きもせず、聞き入っていました。

### 講演2

「脳卒中患者の治療における臨床推論」

順天堂大学板橋病院 理学療法士 大槻 暁 先生



大槻先生の実技講習は、今後理学療法の現場でも活かせそうな内容で、参加者はみな熱心に先生の説明に耳を傾けていました。

第1回目の卒後研修会は、なつかしい卒業生達を迎えて、盛況のうちに終了しました。

研修会後、今年度退官された  
永原久栄先生と上原朗先生の  
送別会を兼ねて懇親会が  
クスクスで開かれました。



あっという間に楽しい時間が過ぎ去ってしまいました。

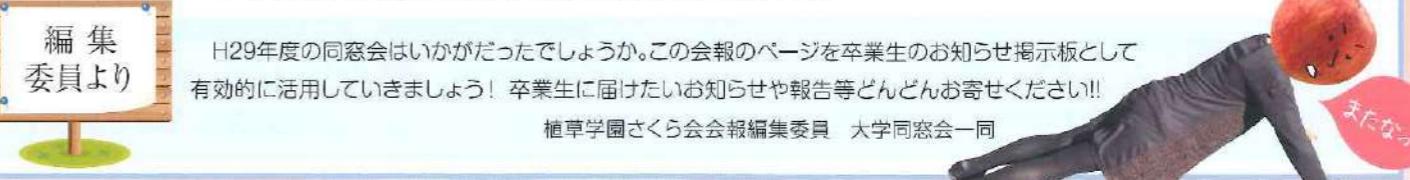
## 卒業生の声

植草学園大学 保健医療学部 5期卒業生 富井 宣哲さん

現在、私は千葉県の総合病院に勤務しています。日々の業務は、楽しいことや、やりがいを感じることもありますが、そればかりではありません。迷いや葛藤、不安や挫折など様々な経験をして、時には落ち込むこともあります。そんなとき、頼りになるのが大学時代からの友人たちです。今もある頃と変わらず、集まって一緒にお酒をのみながら「俺さ、来年結婚するわ」「今、大学院でやろうとしている研究はさ…」などと、将来の夢や自慢話等で盛り上がります。今思えば、自分を奮い立たせてくれる人は昔も今も彼らでした。大学で過ごした日々は、僕にとってかけがえのない宝物であり、今それぞれの道で活躍する友人たちは私の自慢です。それは自分の成長の糧にもなっています。就職してなかなか会うことができなくなりましたが、次に会ったときにどんな話が聞けるのか楽しみでもあります。友人たちの活躍をうれしく思いつつ、私も彼らに負けないよう日々精進していきたいと思います。

H29年度の同窓会はいかがだったでしょうか。この会報のページを卒業生のお知らせ掲示板として有効的に活用していましょう! 卒業生に届けたいお知らせや報告等どんどんお寄せください!!

植草学園さくら会会報編集委員 大学同窓会一同



# 植草学園短期大学

## 伝統を引きついで

植草学園短期大学 学長 中澤 潤

本年度から植草学園短期大学学長を務めさせていただいている。前任校の研究室卒業生が、「植草は私の母も祖母もお世話になった学校で、二人とも植草を出たことを誇りに思っています。」と話してくれました。千葉の地で歴史と伝統を重ねてきた学園の一員となることの責任を感じました。

緑栄祭では A棟や B棟のあちこちで「懐かしいね」という卒業生の方々の声が聞こえました。このように卒業後も母校を訪ねてくださる方が多いのも、本学の良さのあらわれだと思います。本年度、短大は短期大学基準協会による評価を受け、優れた短大であるとの認証をいただきました。今後とも社会に貢献する優秀な卒業生を輩出していくよう、教職員一同意欲をもってとりくんでいきます。

最後にお知らせを一つ。すでにお気づきの方もいらっしゃると思いますが、新装なった千葉駅の成田線エスカレーターに、新たな学園イメージである「インクルーシブを学び実践する」のパネルが掲げられています。ご覧いただければと思います。

## 会長挨拶



植草学園短期大学同窓会 会長 井上 真里  
(児童障害福祉専攻14期の卒業生)

植草学園短期大学同窓会会員の皆様、初めてまして今年度会長をさせていただきます。平成25年度卒業の井上真里と申します。よろしくお願いします。

先輩方のご協力をいただきながら、年間を通して植草学園のために何ができるのかを役員の皆さんと力を合わせ考え企画運営してまいります。

また、年に一度の職場を語る会では懐かしい短大へ足を運んでいただけると、友達や先生方に会えたり直接同窓会のご意見ご感想を伺えたりします。是非会員の皆さんにもお気軽にご参加していただければと思いますのでよろしくお願いします。

同窓会会報では今の短期大学の様子や同窓会の活動報告をいたしますのでご覧いただけます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 同窓会活動報告

● 平成 29年 5月 20日(土)

同窓会 総会

● 平成 29年 11月 11日(土)

緑栄祭



## 職業訓練生

児童障害福祉専攻 第19期生  
中村 江津子



保育士の国家資格を目指し職業訓練生として通っています。4月に短期大学に入学致しました。2年間の課程ですが、早いもので7ヶ月が経ちました。本学を選んだ理由は、障害について専門性の高い知識と技術を学べるからです。

初めは年代の違う学生たちと上手に関われるのかと不安でしたが、入学してその不安は一瞬で消えました。学生時代に戻ったように知識を得てたくさんのこと学べることが非常に楽しいです。毎日たくさんの課題があって大変な時もありますが、充実した日々を送っています。この時間を大切にしていきたいです。



## 本学のワーキングスタディ制度

地域介護福祉専攻 第19期生  
戸田 桃果



私は介護施設でアルバイトをしながら学校に通うというワーキングスタディ制度の下で短期大学に通っています。入学したばかりの頃は勉強とアルバイトの両立がとても大変でしたが、半年が経過してようやく慣れてきました。現在、特別養護老人ホームでアルバイトをしていますが、職員さんは仕事内容を丁寧に私に教えてくれますし、利用者さんやそのご家族の方もとても優しく接してくれます。講義で学んだことを現場に生かすことができます。本当にこの制度を選択して良かったなと思います。毎日忙しくはありますが、とても充実した学生生活を送っており、これからも努力を重ねていきたいと思います。



地域介護福祉専攻 第13期生  
篠原 千尋

こんにちは。私は植草を卒業して最初は特別養護老人ホームで3年仕事をしていました。諸事情により退職し、今は老健で仕事をして1年半が過ぎました。同じ介護の仕事でも施設によって1日の生活リズムや仕事をする上での勤務形態が様々ですが、目まぐるしい日々の中でも利用者さんの「お姉さんありがとう。」等お礼の言葉や私の顔を覚えて下さっている事が私の介護を仕事していく上での力になっています。

仕事をしていて食事、排泄、入浴等一人ひとりそれぞれのペースがあるので介護の仕事をして4年が経ちますが、日々の積み重ねと経験が大切だと感じています。利用者さんが安全で安心できるような生活の場にしていくために、日々模索して介護の仕事をしていきたいと思っています。



同窓会では、総会後にお茶を飲みながら、久しぶりに会う同級生と仕事のことや学生時代の思い出を語り合う時間を設けるなどの活動を計画しています。卒業してから久々に植草学園へ遊びに来てみてはいかがですか？学生時代の話をしながらあの時は…、今は…、と話すことでもとても楽しい時間になると思います。会報を見て懐かしさを感じたときにはぜひ、短大まで足を運んでみてください。

植草学園さくら会会報編集委員 池上清美・吉原萌

# 植草学園大学附属高等学校

## 創立40周年を迎えます

植草学園大学附属高等学校 校長 植草 完

昭和54年4月に開校した我が校も今年40周年を迎えます。

卒業生も一万人を超える、親子、姉妹、姉弟で同窓という方も多いです。この学校、植草学園の教育をご支持いただいているものと深く感謝するとともに、更に充実発展させなければと身の引き締まる思いであります。

昨夏には、40周年記念事業として、植草学園創立80周年記念館に冷暖房設備を設置致しました。これには、同窓会からも多大なる御支援をいただきました。お陰様で、集会や学校行事を快適な空間で実施できています。麗峰祭において同窓の皆様にはご覧いただいていることと思います。例年、麗峰祭の時に同窓会総会を開催することになります。是非、同級生の皆様にお声かけいただき、久し振りに母校の様子をご覧いただきますようお願い申し上げます。麗峰祭の日程は秋であり、本校ホームページにも載せますので、よろしくお願い致します。

生徒の活動の様子は、このさくら会報にも載せていましたが、ホームページにその都度載せていました。

40周年を迎えて、次の10年、20年を乗り越えていくため、更に充実させるよう、教職員一丸となって取り組んで参ります。



## 会長挨拶

植草学園大学附属高等学校 会長 木村 昌代

同窓生の皆さまいかがお過ごしですか。いつも同窓会活動にご協力とご理解をいただきありがとうございます。高校は創立40年目を迎え、同窓会員数は1万人を超える大きな組織となりました。植草学園大学附属高等学校のますますの発展のために、これからもお力添えいただきますようお願い申し上げます。

高校同窓会では、毎年文化祭の一般公開日に「同窓会総会」を開催しています。ホームカミングスペースを設け、我が家に返って来たような気分で皆さまの近況報告をしていただきながら、ゆっくりとお話ができるような形としました。次年度も是非お越しください。お待ちしています。



## 2017年 麗峰祭

2017年多くの卒業生に来ていただいてとても嬉しかったです。

2018年もお待ちしています。お誘いあわせの上ぜひお越しください。同窓会では「ホームカミングスペース」を用意し、卒業生のみなさまが休憩されたり、懐かしい方々と歓談を楽しめたりできるようにしてあります。少しですがお茶とお菓子もございますので、ぜひお立ち寄りください。



## 母校で教育実習

2017年は、2014年3月に今井亨先生(数学)のクラスから卒業された

飯田 由里絵さん 東京女子体育大学 体育学部 体育学科

平井 香穂さん 文化学園大学 服装学部 服装造形学科

が保健体育と家庭科で実習されました。精錬授業前のお二人は

とても緊張していましたが、無事終わってからはこの笑顔、多くの生徒に慕われて充実した実習だったようです。立派な先生になつて母校に貢献してくださるよう願うばかりです。



## 母校訪問

本校はほぼ毎日、卒業生が尋ねて来てくれます。いつまでも頼りにしてくれていたり、思いがけず感謝の言葉をかけてくださったり、思い出話に花を咲かせながら、先生方は英気を養っています。卒業生の笑顔、先生方にとつてはかけがえのない宝物です。



右側:矢沢愛(旧姓:高橋)さん  
小4、中1 2人の女の子のお母さん  
左側:小川亜衣(旧姓:立野)さん  
1歳半の男の子のお母さん  
二人は在校中もとても仲良しでした。



あるとき、尋ねて來てくれた卒業生から「さくら会報いつも楽しみにしています!」と言われました。お世辞でもすごく嬉しいです。ありがとうございます。また今年は同級生の娘さんが入学して來てくれました!時折、廊下や階段でそれ違うのですが、高校生の時の友人とよく似ているのです。一瞬「あれ?○○ちゃん?」と思うことがあります。今回は「親子で植草」お休みしてしまいましたが、次回は必ず!我こそはと思う方、ぜひお連絡ください。またネタもありましたらお願いします。そろそろ本気で煮詰まってきた…ではまた!

## 植草学園大学緑栄祭に合唱部参加

11月11日、ポッキーの日に合唱部がさくら会主催の抽選会の前座として歌声を披露しました。一昨年よりさくらホールで行われるようになった抽選会、多くのお客様が抽選発表を待ちわびるなかでの合唱披露!このなかには4月から植草大学でお世話になる生徒もあります。

合唱部発足4年目!これからもがんばります!よろしくお願いします。



# 植草幼稚教育専門学校

## 会長挨拶

### 植草幼稚教育専門学校同窓会 会長 石川 明子

卒業生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

幼専最後の卒業生を送り出して10年が過ぎてから今まで植草学園さくら会にご支援いただきながら幼専同窓会の活性化・継続のため、微力ですが役員一同力を合せて努めてきました。環境が変化する中でこれからの同窓会の進め方などを以前から話し合ってきました。今までご尽力頂いた役員の大多数は同学園・附属園の職員で結成されていました。経費の問題や役員の人材不足等々、顧問の先生方にご相談しご意見をいただきながら話し合ってきた結果、断腸の思いで第44回同窓会総会を最後に新しい同窓会として生まれ変わることになりました。今後は、同窓会規約にありますように卒業生相互の親睦を深め、併せて植草学園さくら会との連携を図ることにより植草学園の発展に寄与するという目的で今までとは違った形で貢献できるようにと考えております。同窓会総会・懇親会の終了後、出席してくださった同窓生の方から「今までご苦労様でした」と労いのお言葉をいただき、今までのたくさんのご支援に感謝いたしました。年に一回同窓会で先輩、後輩にお会いする度に年代は違っていても、とても心温かく、素敵な笑顔で生き生きされている皆さんに元気をいただけてきました。その姿に和典理事長が仰る『植草パワー』を実感することが多くありました。今までご指導くださいった範子先生をはじめ、諸先生方に感謝しながら学生の頃を懐かしく感じていました。

今後も同窓会会員の皆様と幼専同窓会との連絡方法として、さくら会会報や植草学園の近況については、植草学園ホームページをご覧ください。

最後になりますが、会員の皆様の今後一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

今までのご支援並びにご協力をいただき、ありがとうございました。



川端先生(左)と一緒に

## 顧問挨拶・近況報告

### 植草幼稚教育専門学校同窓会 顧問 植草 一世

卒業生のみなさま、元気でお過ごしでしょうか。顧問になりました植草学園大学の植草一世です。

植草学園の保育・幼稚教育関連の近況報告をいたします。現在、保育教諭時代に向けて学校法人植草学園植草学園大学と短大と附属の保育現場では取り組みを開始しています。2009年に植草学園弁天保育園を開設して以来、既存の植草学園大学附属弁天幼稚園と幼保一体化を目指してきましたが、2016年4月に、幼保連携型認定こども園植草学園大学附属弁天こども園をスタートさせました。ご存じの通り植草学園大学附属美浜幼稚園は、昭和52年に植草幼稚教育専門学校の附属幼稚園として開園し、今年で創立40年を迎えます。1999年に植草学園が短期大学を設置した頃から障害児の受け入れを積極的に行うようになりました。それ以来、障害があっても豊かに過ごし成長をともにできるインクルーシブ保育への挑戦が始まっています。その保育の中心となるものは遊びであり、遊びを通して如何に子どもの成長を支えられるかを追求しています。

また、皆さまはご存じでしょうか。昔は「国立病院」と言っていましたが、現在「国立病院機構 千葉医療センター」になり、その中にある“つばき保育園”を植草学園が委託事業として行っています。さらに平成30年度からは、千葉駅の中に「植草学園千葉駅保育園(仮)」がスタートします。

植草個人の話になりますが、これらの保育に新たな保育のあり方を見たいと考え、イタリアのレッジョ・エミリア市の視察研修(千葉市民間保育園協会主催2014年11月)に参加しました。そこでは戦後70年の歴史を持つレッジョ・エミリアアプローチと呼ばれる子どもの個性や遊びの創造性を重視した保育が行われていました。市のすべての保育現場(幼稚学校・乳児保育所)に素材庫(以下アトリエと記す)が設置され、そのアトリエを街ぐるみで支えるためにレミダという「創造的素材リサイクルセンター」(市と市民の協力)を作っていました。私はアトリエには様々な素材が配置され、素材が織りなす幻想的な空間に心を揺さぶられ、さらにレミダの緻密で具体的な素材収集のための運営システムに圧倒されました。

それを参考にして弁天こども園と美浜幼稚園に子どもが遊ぶ素材がたくさんある「あたりえ」を設置しました。お近くにお越しの際は是非見学してください。

## 寄付のお願い

幼専同窓会は、卒業時に納入していただいた終身会費を元に運営してきましたが、卒業生がいなくなった今、収入源がなくなり資金を切り崩して活動を行っております。また、平成22年度から幼専単独の活動だけでなく、植草学園さくら会(連合同窓会)の運営費も必要となりました。これから同窓会存続・発展のために、幼専同窓生の皆様に寄付金のご協力ををお願いいたします。なお、ご寄付いただいた方のご芳名は次号の会報に掲載いたします。なお芳名の記載を希望されない方は、その旨を振り込み用紙の追記欄にお書きください。

植草幼稚教育専門学校同窓会へご寄付いただける方は郵便局の振込用紙に下記の項目をお書きください。

◎寄付していただいた方  
荒木田光恵さん 3口

□ 口：1,000円(何口でも結構です)郵便振替口座にてお振込みください。  
□ 口座記入番号：00270-9-140638

加 入 者 名：植草幼稚教育専門学校同窓会



副会長と一緒に



同窓会発足から歴代の役員の皆さんに支えていただいたお陰で今年度まで迎えることができました。

平成29年度役員一同、御礼申し上げます。  
ありがとうございました！

## 平成29年度 第44回同窓会

平成29年11月11日(土)

「第44回 同窓会(総会・懇親会)が行われました。」

今年も植草学園大学のkusukusuで行われました。幼専らしい和やかで温かい雰囲気の中で皆さんの素敵な笑顔がたくさん見られ、同窓会役員一同嬉しく思っております。今後もこの同窓会総会・懇親会を続けられるよう、役員一丸となって準備をしていく予定でしたが、それが限界にきているのが現状となっています。

勝手ではございますが、今回の総会の審議事項で【今後の同窓会総会・懇親会の継続について】を取り上げ、役員の現状と来年度以降の同窓会総会・懇親会への思いをお伝えしました。その結果、出席してくださった同窓生の皆様、お世話をなった先生方のご理解・ご了承を得る形となりましたのでご報告します。

- ・役員の減少、またそれに伴う一人ひとりの仕事の増加、負担の大きさがあることから来年度以降の同窓会総会・懇親会は開催しません。
- ・幼専同窓会はさくら会の連合同窓会として今後も存続します。
- ・今後は【役員総会】という形で開催します。よって現行の会則を変更します。
- 変更しましたらホームページにてお知らせしますので、ご確認ください。

このような形でのご報告になってしまったことを大変申し訳なく思っております。今までたくさんの同窓生の皆様や先生方にご出席・ご協力いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。皆様と過ごした時間はこれからも忘れることはできません。またいつの日かお会いできることを楽しみにしております。

今まで本当にありがとうございました。役員一同、御礼申し上げます。



今年も笑顔で無事に終えることができました。今までの同窓会を含め、たくさんのご協力をいただき、改めて御礼申し上げます。

## 同窓生の窓

植草幼稚教育専門学校 第18期生 高橋 治美(旧姓 白鳥)

私は植草幼稚教育専門学校18期生で2年間お世話をになりました。

私の大切な思い出は専門学校の入試の面接で、態度の悪かった高校生活を打ち明けた時、亡き範子先生を始め先生方が親身になって話を聞いてくださった事です。面接にも関わらず先生方の優しさに胸がいっぱいになり、泣いてしまった私と一緒に涙を流してくださった事は一生忘れられません。その時までは「子どもと関わる仕事がしたい」と漠然と思っていたましたが、保育士になろうと覚悟を決めた瞬間でした。

現在、私はグループホームと学童保育所の複合施設で学童の管理者として働いています。自分もあの時の先生方の様に誰かに優しい人でありたい。誰かに寄り添える保育士としてこれからも頑張って参ります。



## 植草幼稚教育専門学校 第34期生 吉井 亜沙美

私は幼専在学中の2年間、ピアノのレッスンを黒田先生に見てもらいました。幼い頃からピアノを習っていた私にとって弾くこと自体は楽しかったのですが、歌を歌いながら弾くことがとても難しかったことを今でも覚えています。特に歌うことが大の苦手であった私は自信がもてず、いつも小さい声になっていましたが、そのため黒田先生は私の背中でリズムをとりながら一緒に歌い、励ましてくださいました。

また学園祭では大勢の人の前でピアノを弾くという機会を与えてくださいました。個人で弾く曲もありましたが、連弾で弾く曲もあり、友達と何度も練習したこと今までよく覚えています。附属園に就職して以来、いろいろな年齢の担任になりましたが、その都度ピアノを用いて歌を歌ったりクイズをしたりコミュニケーションをとる手段となっています。これからも子どもたちと過ごす中で欠かせないものとなっていくと思います。

黒田先生の暖かさに見守られた2年間で様々な経験をさせていただき、それが今の私の支えとなっていることを日々感じています。本当にありがとうございました。

## 編集委員より

同窓生の皆様、会報第8号は楽しんでいただけたでしょうか?毎年、同窓会役員が減少していくなかで、今回無事に会報をお届けできることを嬉しく思います。

今号は昨年度まで植草学園で長くご活躍された同窓会顧問黒田静江先生とゆかりのある方たちに記事を依頼し、幼専時代を振り返ると共に現在でも第一線でご活躍されていることを知り、私たちにとっても励みになりました。次号より、幼専さくら会会報ページは縮小されますが、今後少しでも皆様に幼専のことを思い出して温かな気持ちになっていただけますよう、微力ではありますが頑張っていきますのでご理解の程よろしくお願いいたします。

植草幼稚教育専門学校同窓会会報編集委員 鈴木香菜、小林亜紀子、石川明子

ご 依 賴 人：会員の方の住所、○期、○組、氏名、電話番号をご記入ください。  
通 信 機：寄付金の口数を明記(例:寄付金3口)してください。

## 植草文化服装専門学校、植草家政高等専修学校同窓生より

植草文化服装専門学校 昭和62年度卒業 縫嶋 紗子(旧姓 阿部)さん

服飾デザイン科2年間で、中国からの留学生との出会いがありました。また、千葉そごうのシルク展では羽二重を使ったウェディングドレス製作、植草あう校長先生のフォーマルスツイツも作らせて頂き、千葉県知事賞も頂きました。

桂由美ブライダルハウスへ入社し、3年目からは、縫製部のチーフとなり、後輩達を呼ぶ事が出来ました。バブル時代は忙しく、コレクションのステージ裏でモデルのフィッティングも



瀧澤学園のファッショショニショ。右端が縫嶋さん

植草家政高等専修学校 家政科 昭和38年度卒業 瀧澤 徳(旧姓 中島)さん

私は植草家政高等専修学校を卒業後、プロカッティングスクールで立体裁断を学び、洋裁店に2年程勤めました。結婚と同時に退職しましたが、3人の子どもに恵まれて、子供服や友達に頼まれた婦人服等を作りました。

5年前まで恩師の植草久子先生(旧姓大増)を招待して同窓会を行っていました。ある時、皆で植草学園に行きましょうという事になり昔懐かしい学園に行きました。植草あう校長先生の銅像の前でしばらく昔の話に花を咲かせました。そして学園の廻りを歩き、植草昭先生のお住まいの途中にある、創立



松本農園にて。後列右端が瀧澤さん

### 平成29年度 植草学園さくら会役員

- 顧問 植草和典 植草完 清野俊則 中澤潤
- 会長 小林鶴枝
- 副会長 石川明子 木村昌代 井上真里 西川嘉人
- 監事 岡田泰子 小林亞紀子
- 理事 斎藤京子 早川佐知子 松本珠代 鈴木朱美 小笠原晴代  
信田一美 岡田眞貴子 竹村美紀 金久保利一 池上清美  
杉田香織 宇部裕美子 小泉仁美 半田貴太
- 企画委員長 宇部裕美子
- 会報編集委員長 池上清美
- ホームページ委員長 岡田愛美 ● 代議員 各校より計20名
- 大・短同窓会協力委員会 今井訓子 根本曜子 村上悦子 荒金房子 千葉諭
- 高校協力員 根本薰雄 ● 学園事務局長 手塚千葉 ● 事務局 キャリア支援課

しました。手掛けたドレスが、テレビや雑誌などで見られる事多くありました。

家事の合間に、自分や妹や友人のウェディングドレス作り、あついう間の10年間でした。出産間近に退職しましたが、その後も落ち着いてから内職でお仕事させて頂いています。子供達の成長に合わせ私の出番も、祝い着は、思い出のリメイク品。幼稚園では、お遊戯会の衣裳、ピアノの発表会のドレス作り。小学生になるとクラブの手芸や授業で裁縫を教えるボランティア、もう11年になります。

ネパールやベトナムからの留学生が多い瀧澤学園では、恩師の吉野節子先生をお手伝いする事が出来ました。海外生産が中心の今、オーダーよりもリフォーム、リメイクの仕事がほとんどですが、エコリメイクで生まれ変わらせたいと思います。



教え子からのメッセージ

80周年記念館で部活動をしている高校生に会い大きく発展された学園に感動しました。

現在は、グループで毎年メンバーの君津の松本農園(グループ松本様)にお邪魔して、ビニールハウスの花畠の中でパンジーを摘んでレイを作る教室に参加したり、房総の太巻き寿司を食べたりして、楽しく過ごしています。

卒業して早や50年、植草学園の思い出を大事にこれからも楽しく過ごしていきたいと思います。



昭和39年3月 卒業式

### 植草学園さくら会ホームページ

植草学園大学、植草学園短期大学のホームページメニューから、「学園について」→「植草学園さくら会(連合同窓会)」をクリックし、植草学園同窓会のホームページにお入りください。

**URL <http://www.uekusa.ac.jp/>**

会報誌の発送停止・住所変更に関する事は各同窓会係まで

大学・短大：キャリア支援課 043-233-9080

高 校：附属高校 043-252-3551

幼 専：美浜幼稚園 043-277-2361

(学校業務中のため16:00以降にお願いします。)